



～ケアマネ・リハビリ合同研修会を開催しました～

令和6年12月19日に市川市勤労福祉センターにて、市川市介護支援専門員リハビリ専門職合同研修会が開催されました。今年は、「がん（終末期）における介護支援専門員とリハビリ職の連携について」というテーマで国立がん研究センター中央病院の作業療法士、櫻井卓郎先生にお話をして頂きました。

当日は高齢者サポートセンターから6名、居宅介護支援事業所から39名、リハビリ専門職4名の参加がありました。

櫻井先生からは、**がんの治療の歴史や最新の治療法**などの知識をご講演いただきました。その後、**がんリハビリテーションの実際**を病期や原発巣に応じて具体的に教えて頂きました。参加している介護支援専門員からは「病院でそんなリハビリをしているなんて知らなかった」「在宅ではできないのか」などの声が聞こえてきました。

2部ではグループに分かれて**介護支援専門員とリハビリ職で症例検討**を行いました。1症例について1時間半を使用して検討を行いました。休憩時間も休まずに議論を続けるなど、白熱した展開となりました。

講評の櫻井先生からは、「本日の皆様の意見を、同じがん治療のリハビリテーションに携わっている仲間と共有します」という言葉をいただきました。

がん患者への専門的なリハビリテーション内容だけでなく、**地域へ送り出すセラピストの気持ち**について知ることができる非常に貴重な研修となりました。

（文責：ST山崎勇太）



東葛南部圏域で「地域リハビリテーション研修会 ～地域リハの仲間を増やそう」が開催されました！

11月26日（火）、市民文化創造館（きららホール）にて開催。今回は、**地域リハに興味**を持っている1～5年目のセラピストを主な参加者として開催されました。

第1部は、**東葛南部圏域の各市のリハビリテーション関連団体の取り組み**を、各団体代表が「3分」でプレゼンしました。市川リハビリテーション協議会は、横山会長が鮮やかに楽しくプレゼンしてくれました。

第2部は、**各団体のブース**に若いセラピストが気軽に立ち寄り、**地域リハ**について語り合いました。地域リハの入口となる素晴らしい企画に心熱くなりました。

（文責：ST日下智子）



当会の横山会長の発表！



当会STの日下はST士会から

注目記事！

東葛南部圏域広域支援センターの
ST石橋さんが語る！

「外部から見た、市川 リハ協議会の特徴」

当協議会の監事でもあり、東葛南部圏域の地域リハを知り尽くした石橋さんに、市川の特徴を聞いてみました。

市川市リハビリテーション協議会の最大の特徴は、**個人会員のみで構成されている点**です。東葛南部圏域内にはいくつかのリハビリ団体がありますが、その多くは市内の病院や施設単位で構成されています。それに対し、市川市リハビリテーション協議会は、一部の大規模病院や施設の方針に左右されにくく独立性が保たれています。このため、**個々のメンバーの価値観や考えが反映され、多様な視点に基づく活発な活動が可能**となっていると思います。リハビリ団体は、地域リハビリテーション活動支援事業への社会的ニーズの高まりを背景に誕生してきましたが、多くの場合、特定の担当課との事業の委託に関する限定的な連携に留まっているのが現状です。最近では、保険事業と介護予防の一体的な取り組みや様々な事業間の連携が求められています。その中で、**市川市リハビリテーション協議会の自由で多様な視点は、様々な担当課や関係機関をつなぐ架け橋となる可能性がある**と感じており、期待しています。

石橋 尚基（本会監事、東葛南部圏域地域リハビリテーション広域支援センター）

市川市リハビリテーション協議会

HP) <http://lchikawa-rc.org/>

Mail) ichikawarehakyou@gmail.com



ホームページ



LINE

施設紹介(第13回)

市川市内の様々なリハビリ施設をご紹介します。第13回は「**行徳中央クリニック 行徳中央病院・行徳中央介護医療院**」です。

医療法人友康会は行徳駅より南東の行徳近郊緑地に隣接した落ち着いた環境に位置し、「行徳中央クリニック」「行徳中央病院・行徳中央介護医療院」「訪問看護ステーションゆうこう」「市川市高齢者サポートセンター南行徳第二」を運営しています。

当院リハビリテーション科には理学療法士11名・柔道整復師・マッサージ師が所属しております。

クリニックは外来・入院病棟(19床)があり、外来は一般的な整形疾患に加え、スポーツリハビリにも取り組んでいます。入院病棟は骨折・人工股関節置換術後の整形外科疾患や、レスパイト目的の内科入院に対するリハビリを行っています。

病院(医療療養病棟25床)と介護医療院(120床)は長期療養専門の施設として終末期まで対応しています。入所様様が心穏やかな生活を送れるよう病棟スタッフと連携し、関節拘縮予防から生活に則したADL訓練まで状態に応じて行っています。

訪問看護ステーションにも専任の理学療法士がおり、在宅療養している方への訪問リハビリをしています。

このように当院は外来や入院、急性期から長期療養そして在宅支援に至るまで、地域の皆さまの健康と生活に寄り添い、地域に根差した医療・介護を提供しています。

【文責】理学療法士 今井知美



【編集後記】 地域リハビリテーションの需要が高まっています。市川はまちに出て行こうとするセラピストが増えてきていると感じます。病院・施設を飛び出して、まちの中でもともに働きましょう♪ 編集：日下 (ST)